

講義名	ミクロ経済学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	岡島 慶知		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	22086

主題と概要

ミクロ経済学の主題は、以下の『』で囲まれた用語・概念を学ぶことです。概要をイメージしやすくするために、学んだ用語・概念を現実事例にどう応用するかという応用対象も含めて、以下いくつかを例示します：(1)『インセンティブ』。応用例：政府がお金を出せば女性は子供を生むだろうか？(2)『効用最大化』。応用例：右上がりの需要曲線は存在するか？(3)『行動経済学』。応用例：あなたの意思決定は合理的か？(4)『完全競争市場』。応用例：iPhoneのアプリ市場はどのような特徴を持つか？(5)『独占的競争』。応用例：スターバックスのコーヒー事業の盛衰とは？(6)『寡占』。応用例：産油国間の石油減産協力はなぜうまくいかないのか？(7)『独占』。応用例：マイクロソフトのソフトウェア価格はどんな特徴を持つか？(8)『価格戦略』。応用例：映画館にはなぜ多くの種類の価格が存在するのか？

到達目標

学生はミクロ経済学の基本を身につけ、様々な経済問題を経済学的な視点から評価し、解決策を考えることができるようになります。

提出課題

予習復習サイトにアクセスして解答してもらいます(ケータイからのアクセス可)。

評価の基準

授業内小テスト1点*15回=15点
発表3点*5回機会=15点
予習復習2点*15回=30点(予習15,復習15)
中間テスト12点
期末テスト28点
合計100点。100点を超える得点については調整(予定)

履修にあたっての注意・助言他

受講態度が悪い場合には、数十点を減点されるリスクがあります。

教科書

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. 経済学
2. 第2章 企業、株式市場とコーポレート・ガバナンス
3. 第3章 比較優位と、貿易から得られる利益
4. 第4章 消費者選択と行動経済学
5. 第5章 技術、生産と費用
6. 第6章 完全競争市場における企業
7. 第7章 独占的競争
8. 中間テスト+復習
9. 第8章 寡占
10. 第9章 独占と反トラスト政策
11. 第10章 価格戦略
12. 第11章 労働市場
13. 第12章 情報の経済学
14. 第13章 公共選択、税と所得分配
15. 補論 価格差別

予習・復習

授業内で指示する

備考